

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	生物基礎（数研出版）						
副教材など	リード Light ノート 生物基礎（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法など）

毎時間、予習復習する必要はない。ただし、ある程度定期的に復習をしておくこと。単元ごとや定期考査、小テストなどを目途にして教科書、ノートの内容を把握しておく。問題集などの問題を繰り返し説く。

各単元を羅列的に独立して学習しないこと。「生物基礎」の中での流れを踏まえて、各分野の学習する目的も理解しておくこと。

暗記しているかどうかを試すのではなく、説明できるかどうかで理解の具合を確かめると良い。

2 学習の到達目標

多様な生物も細胞からなり、遺伝子としてDNAを、エネルギーの受け渡しにATPを使うという共通性をもつことを理解し、人が健康に生きるには個々の細胞の働きによって内部環境が一定に保たれることが重要であることに気付き、生命を尊重することができるようになること。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関心に興味をもち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物と遺伝子	生物の多様性と共通性	○		○	○	a:生物の多様性と共通性に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:光合成と呼吸の仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c:細胞の観察,酵素反応の実験を行い、生物学的に探求する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:生物と遺伝子について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		エネルギーと代謝			○	○		
		光合成と呼吸		○		○		
2学期	遺伝子	遺伝情報とDNA				○	a:遺伝情報の発現に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c:パフ観察の実験を行い、生物学的に探求する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:生物の体内環境の維持について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		遺伝情報の発現	○		○	○		
		遺伝情報の分配		○		○		
	生物の体内環境の維持	体液という体内環境				○	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	
		腎臓と肝臓				○		
3学期		神経とホルモンによる調節		○		○	a:ホルモンに関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:自律神経による調節とホルモンによる調節の違いを考察し、導き出した考えを表現している。 d:体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・ワークシート 定期考査

※表中の観点について

a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現、c:観察・実験の技能 d:知識・理解